

(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項

### ① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 JMACS

### ② 施設・事業所情報

名称：てとて	種別：就労継続支援 A 型事業所
代表者氏名：山内豪樹	定員（利用人数）： 20 名(37 名)
所在地：愛媛県新居浜市清水町 5-35	
TEL：0897-47-5141	ホームページ： <a href="https://tetote51fukushi.wixsite.com/my-site-1">https://tetote51fukushi.wixsite.com/my-site-1</a>

#### 【施設・事業所の概要】

開設年月日：令和 5 年 5 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：一般社団法人てとて		
職員数	常勤職員： 8 名	非常勤職員： 名
専門職員	（専門職の名称） 名	
施設・設備 概要	（居室数）	（設備等）

### ③ 理念・基本方針

理念：『障害者が障害者であることを忘れてしまう世界の構築』

基本方針：農業を主軸とし、障害者が本当の意味で活躍できる環境を整える。

### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・事業所建物は労災病院前に位置し、自社で確保した近隣の圃場での農作業と、他者からの依頼に基づく委託農業を行っている。
- ・利用者個々の特性と事情を最大限に考慮し、最適な支援方法を模索する。

<p><b>【目的】</b> 自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、雇用契約の締結等による就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切にかつ効果的に行うことを目的とします</p> <p><b>【実績】</b> JA（あかがね市）、市内店舗の産直市へねぎ等野菜の出荷、学校給食へねぎ出荷、農作業全般（ねぎの苗植えや出荷準備、里芋収穫、仕分け作業）、一般摺沢の除草・庭の手入れ、伐採、空地の除草、庭の手入れ）、伐採、空地の除草、公園の掃除</p> <p><b>【利用日】</b> 事業所によるシフト制</p> <p><b>【利用時間】</b> 10：00～15：00（昼休憩 12：00～13：00）</p> <p><b>【休日】</b> 月 8 日</p> <p><b>【作業内容】</b> 農作業（ネギ・里芋等の苗の育成、作付け、畑の管理、収穫、出荷、梱包等） 畑の除草、空地の除草、一般住宅の除草、伐採等</p> <p><b>【実施サービス】</b> 個別支援計画の作成、雇用契約締結による就労の機会の提供、生産活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練、施設外支援の実施、施設外就労の実施、求職活動の支援及び求人の開拓、相談及び助言等、送迎サービス、就職後及び職業生活における相談等の支援</p> <p><b>【一日の流れ】</b></p> <p>9：30～ 9：50 出勤、作業準備</p> <p>9：50～10：00 朝礼</p> <p>10：00～12：00 作業（施設外）</p> <p>12：00～13：00 休憩・昼休み</p> <p>13：00～15：00 作業（施設外）</p> <p>15：00～ 終礼後帰宅</p>
--

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日（契約日） ～ 令和 7 年 3 月 25 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回（ 年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### ① 利用者と職員の垣根を取り払い、人と人との関係づくりを重視している

事業所の特性である「就労」を通じて、利用者も職員も同じ農業の従事者という関係性を築いている。その中で、職員は障がいにより支援が必要な利用者に最大限・最善の支援を提供し、利用者が持つ能力を職員が享受することもある。

何事にも、互いに心を通い合わせ親密性・信頼性を築くことを大切にしており、職員全員がその価値観を共有している。

#### ② 利用者・職員ともに“楽しい”を実感している

事業所全体として明るく、楽しく過ごしている様子が伝わってきた。たとえ体調不良が生じたとしても気兼ねなく休暇を申し出ることができることも安心材料となっている。

その雰囲気を作るうえで管理者が主導し、他の職員もそれぞれの個性の中で役割を果たしている。利用者は安心してありのままの自己を表現できていると感じる。

#### ③ 地域住民と交流の輪が広がりソーシャル・サポートネット・ワークが構築されている

管理者をはじめ、職員・利用者は、地域の祭りや、地区の自治会の除草作業、地区の活動団体主催のイベントなどに積極的に参加している。また、事業所の主な作業場は田畑であり、日々熱心に作業に取り組む様子は、地域の方々が目にとられており、利用者や職員に感謝の言葉がかけられたり、自宅の除草依頼をされたりしている。そのような積み重ねで、事業所と地域の関係性が強固になり、互いに必要とする関係性が築かれている。そのことが地域に広がっている様子がうかがえた。

### ◇改善を求められる点

#### ① これまでの実践を文書化することが求められる

開設時に必要最低限の文書は準備しているが、マニュアルや資料等を整備しておく必要がある。開設から2年近く真摯な実践が蓄積されている。それらを文書化することで、これまでを振り返り今後の指標とすることが可能となる。

#### ② 研修の計画的な実施と、職員個々の目標設定を目指すことが望まれる

事業所全体の研修目標を掲げるとともに、職員一人ひとりのスキルアップを目指した内容を含んだ研修を計画・実行することで、さらなる利用者支援の質向上につながると思われる。また、職員は個々に利用者支援および事業所運営に関わる際の目標を設定し、意見やアイデアを持つことが求められる。事業所は、面談等を通じて職員個々の意見やアイデアを聴き取り、事業所運営に反映することが望まれる。

#### ③ 利用者に対して伝えるべき内容をより分かりやすく見える化することが望まれる

利用者に対し、口頭で分かりやすく伝えたり、掲示したりして伝えているが、多様な利用者特性に配慮し、誰が見ても分かりやすい写真やイラストを用いたり、色分けや設置位置等、同じ内容でも多様な方法で伝える工夫が望まれる。

(障がい者・児福祉サービス版)

⑥ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

日々の業務の中で、自分たちに不足している事や出来ていない事には気が付かないものであるという事を認識する事ができる大変良い機会となりました。

有難い身に余る評価には、それに慢心することなく更にブラッシュアップし、障がい者の辛さ、泣き顔を一個でも減らし、生きている事と生まれた事への喜び、笑顔を一個でも多く創出できるように支援力を向上させていきたいと思えます。

また、評価及びご指摘頂いた内容については、真摯に受け取り、今後の支援につなげていきたいと考えます。

改めまして、自分たちの今後の成長に大きな後押しとなる機会を頂いたことに感謝いたします。ありがとうございました。

⑦ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・①・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページ等に明記するとともに、特に利用者や家族、近隣住民等の関係者については、理解が得られるよう対面で明確に伝えることを大切にしている。</p> <p>今後は、より多くの人々が当該事業所の理念や基本方針を知る機会を増やすべく、パンフレット等を役所等、地域の人々が手に取りやすい場所に設置することが望まれる。</p>		

#### Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・①・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所所在の自治体の協議会に参加し、事業経営を取り巻く環境や経営状況について把握する機会を得ている。開設して間もない事業所であり、JAや地元企業、地元住民等と、これまでに築いた関係性を最大限生かし運営を軌道に乗せるべく努力を重ねているところである。</p> <p>引き続き協議会等に参加して、把握・分析し、それを活かしていくことが期待される。</p>		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・①・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>管理者は事業所の運営を軌道に乗せるために日々奔走しており、その結果として新たな事業計画を実施し、安定した収益の計上を目指している。</p> <p>今後は、他の職員にも周知し、ともに課題に取り組むことが望まれる。</p>		

## I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>管理者は、利用者も職員も同じ農業の従事者として手と手を取り合い、障がいがあることを忘れるような世界を目指すという明確なビジョンを持ち、日頃から職員に伝え全員で共有している。しかし、明文化していないため、早急に計画書を策定することが求められる。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全職員が共有するビジョンのもとで、単年度の事業計画を実施している。その計画は、県に提出する書類として作成されている。</p> <p>今後は、中・長期計画に連動させた計画として示すことが求められる。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画の策定、実施状況の把握、評価・見直し、いずれの過程においても、全職員で日頃から話し合い、共有する体制になっている。</p> <p>現在は、過程ごとに必要なタイミングで話し合いと共有ができていますが、それを長期的に継続して実施できるよう、各過程に応じて必要な時期と手順を明記しておくことが望まれる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者に対して、朝礼や終礼の時間を利用して、事業計画における具体的な内容を伝えている。しかし、利用者の主体性を尊重し、家族に対する説明は積極的には行っていない。</p> <p>今後は、事業計画の主な内容をわかりやすく説明した資料を作成して配布する等、家族にも伝わるような工夫が期待される。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>福祉サービスの質向上は事業所として必須事項と考え、開設間もない時期に当該評価を受審するに至っている。また、日頃から職員の利用者に対する言動等について気づいた点は適宜指摘し改善するよう努めている。</p> <p>今後は、福祉サービスの質向上のための取組を PDCA サイクルに基づいて実施できるよう明記しておくことが期待される。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日頃から適宜話し合うことで課題の改善に取り組んでいる。</p> <p>今後は、課題を文書化し改善の取組を計画的に実施することが期待される。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>管理者は、自らの役割と責任を職員に表明し実行している。しかし、文書化しておらず、管理者不在時の権限委任等が明確化されていない。</p> <p>まずは文書化して、万一の状況に備えることができるようにしておくことが望まれる。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>福祉分野に限らず経営に関わる情報を見逃すことのないよう、ネット情報は毎週のように確認する等、注意して収集している。今後は、研修や勉強会への参加も検討することが期待される。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>まずは管理者が率先して意欲的に取組んでおり、職員会議をはじめ、日頃から職員への働きかけを行っている。</p> <p>今後は、福祉サービスの質向上に関して職員自身の実践を引き出す働きかけが期待される。</p>		

13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>管理者は自らの責任として、経営の改善や業務の実効性の向上に向け、常に分析を行っており、職員に同様の意識を形成するための働きかけを行っている。</p> <p>今後は、経営の改善や業務の実効性を高めるために取組に関して職員自らが発信するような体制づくりが期待される。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>開設時に事業所の理念等を共有できる適切な人材を採用し、良好な職場環境づくりにより開設時からの職員が現在も勤めている。</p> <p>必要な福祉人材や人員体制を維持し続けるための計画を示しておくことが期待される。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の処遇について評価分析し、改善策を検討・実施している。</p> <p>今後は、職員自身が将来の姿を描くことができるような仕組みづくりが期待される。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>管理者は職員の意見を常に聞く姿勢を示し、職員も相談しやすいと実感しており、必要が生じればすぐに相談している。働きやすい職場であると感じている。</p> <p>改善が求められる事項が生じた場合は、具体的な計画に反映し実行できる体制を整えておくことが求められる。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・㊦
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現時点で職員一人ひとりの目標管理の仕組みが構築されていない。</p> <p>職員一人ひとりが目標を設定できるように、「期待する職員像」を示すことをはじめ体制を整えることが期待される。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・㊦

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>研修計画を立て実施しようとしたものの、外部研修についてはテーマに該当する研修がなかったり、日時が合わなかったりしたため、翌年度は計画の見直しを行っている。</p> <p>今後は、計画を実現可能なものにしていくとともに、研修の具体的な目標が示された体系的な計画として明文化することが望まれる。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・㊸
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員個々に対し、日常業務中に適宜、指導や助言を行っている。しかし、外部研修の情報提供等は現在のところ実施できていない。</p> <p>今後は、積極的に教育・研修の機会を確保するように目指すことが望まれる。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・㊸
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習希望があれば受け入れたい思いはあるが、体制整備ができていない。</p> <p>まずは、受け入れ体制を整えることが期待される。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㊸・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業および財務を含めホームページで公開しており、必要に応じて適宜情報を公開している。</p> <p>今後は、より積極的に当該事業所の存在意義や役割を示すような取組を実施することが期待される。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㊸・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>当該事業所の理念は、すべての人が公正であることを目指している。また、事業所をオープンにし、透明性を高め適正な経営・運営を目指すことを可能にしている。</p> <p>さらに、外部の専門家の監査支援等を活用し、透明性を高める取組を実施することが期待される。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の祭りや、地区の自治会の除草作業、地区の活動団体主催のイベントに参加するなど、利用者・職員が積極的に参加している。</p> <p>今後もさらに、交流の機会を定期的に確保し、事業所や利用者への理解につなげることが期待される。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・㊦
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現在は、事業所を運営していくうえで、ボランティア受入れ場面の想定がなく受入れていない。</p> <p>今後は、ボランティアの受入れや、学習等への協力を検討することが期待される。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談支援事業所や病院等と情報共有するなど、そのつながりは重要な位置づけとして認識している。</p> <p>必要な社会資源を明示したリストや資料を作成するなど、必要が生じたときに全職員が活用できる体制を整えておくことが期待される。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自治体主催の会議への参加や地域住民との交流活動を通じて、地域の福祉ニーズ等の把握に努めている。</p> <p>今後は、当該事業所の専門性や特性を活かして相談事業を実施する等の工夫が期待される。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自治体で所属する部会の企画で特別支援学校卒業生向けに講演するなどしている。</p> <p>今後は、当該事業所が有する専門性を活かした活動を地域で実施することを企画・検討することが期待される。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

## Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>あらゆる場面で理念や基本方針に基づいた行動をとるように全職員が取組んでいる。少しでも気になる言動があった場合は、可能な限りその場で注意を促し、改善を図るように常に取組んでいる。</p> <p>これまでの対応を記録し、標準的な実施方法等を明示しておくことで、定期的な状況の把握・評価等の指標とすることが望まれる。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者一人ひとりの障がい特性も含めた個別性に配慮して対応している。利用者から相談事があり、他の利用者にも関わる内容であれば別棟の部屋で相談できる体制になっている。</p> <p>今後は、利用者のプライバシー保護に関する規定・マニュアル等を整備しておくことが望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用希望者に対し、個別に丁寧な説明をしたり見学・体験の希望に応えたりして、現在は利用者定員を満たしている状況である。</p> <p>今後は、事業所の特性等を紹介した資料を公共施設等に置くなど、多くの人が入手できるよう工夫することが期待される。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者や家族に対してわかりやすく、認識に行き違いがないように説明するよう工夫している。</p> <p>実施してきた工夫をはじめ、必要な配慮についてルール化しておくことが望まれる。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一般就労に移行する利用者や退職者に対し、当該事業所がいつでも相談に応じることを伝えている。一般就労移行先の担当者とは、継続的に連携を図っている。</p>		

<p>今後は、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を作成しておくことが望まれる。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;          利用者の日常的な支援のあらゆる場面において、常々満足度を意識して対応している。今後は、利用者満足を把握する仕組みを整備しておくことが望まれる。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;          利用者は話しやすい職員に苦情や相談事を伝え、職員は苦情や相談事を受ければ、本人の希望に応じてその内容を共有する等、適切に対応している。今後は、さまざまな方法で申出ができるような工夫が望まれる。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;          利用者は相談や意見を自分が話しやすい職員にして良いことが周知され、必要に応じて別棟の居室で相談に応じる体制がある。今後は、それらの体制について、掲示や配布をするなどの工夫が期待される。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;          利用者からの相談や意見は、全職員が共有し対応するよう心掛けている。また、利用者が不安や苦痛を持ち越さなくても良いように、可能な限り速やかに対応している。検討に時間がかかる場合は、そのことを説明している。今後は、利用者の意見を積極的に把握する取組の工夫と、対応マニュアル等の整備が期待される。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;          就労上の事故防止・安全確保はもちろんのこと、人間関係上・精神衛生上の安全確保においても、最大の注意を払いながら臨んでいる。評価・見直しの指標として、これまでに対処した事例をまとめておくことが望まれる。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・⑩・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>感染症対策に関する体制を整備し予防対策を実施している。</p> <p>感染症の予防や安全確保に関する勉強会を実施したりマニュアルを定期的に見直したりすることが期待される。</p>		
39	<p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	a・㊦・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>風水害・火災・地震に対する避難訓練を月1回実施している。また、BCP（事業継続計画）を作成中である。</p> <p>新たに作成されるBCPに基づき、食料や備品類の備蓄の確保や連携先との確認などを進めることが期待される。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	<p>Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	a・b・㊦
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者個々に応じて丁寧かつ適切に対応しているが、標準的な実施方法が文書化されていない。</p> <p>これまでの実践を踏まえて、できるだけ速やかに標準的な実施方法を文書化することが求められる。</p>		
41	<p>Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	a・b・㊦
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法を文書化したうえで、定期的に現状を検証し、必要な見直しを行うための仕組みを定めておくことが望まれる。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。</p>	㊦・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談支援事業者も交えた会議で個別支援計画が策定されている。利用者一人ひとりのおかれた状況を踏まえたうえで、本人のニーズを反映した個別支援計画を策定している。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。</p>	㊦・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っており、必要があれば内容を見直し変更している。</p>		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用者の身体および生活の状況等、必要な時はすぐに話し合う体制にあり、情報を職員間で共有している。</p> <p>話し合った記録を有効に活用できるよう整理しておくことが期待される。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・⑩・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全職員が個人情報保護の重要性を理解して取組んでいる。気になることがあれば、即指摘・指導を行うようにしている。</p> <p>今後は、個人情報の取扱いについてより詳細に示し、利用者や家族に説明できるようにしておくことが望まれる。</p>		

## A-1 利用者の尊重と権利擁護

### A-1- (1) 自己決定の尊重

	第三者評価結果
A① A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・b・c

#### 所見欄

職員は利用者の思いや希望の把握に努め、利用者個々に合わせた声かけや支援を行っている。利用者は自己決定や自己選択に基づき、作業内容を選択したり、休憩時間は思い思いに過ごしたりしており、職員は必要に応じてサポートしている。日々の中で知り得た利用者の思いや日々の様子、具体的な支援内容等については、職員間で口頭にて情報共有している。今後は、それらを記録に残し、情報の共有や支援の振り返りを行い、利用者の自己決定を尊重した個別支援や取組につなげて欲しい。

### A-1- (2) 権利擁護

	第三者評価結果
A② A-1-(2)-① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a・c

#### 所見欄

利用者個々の障がい特性を理解して、利用者職員と一緒に活動を行うことを大切にしている。権利擁護について職員間での話し合いが必要な場合には、夕方のミーティング時に話し合うなどその日のうちに検討している。今後は、権利擁護に関する規定・マニュアル等の整備や利用者の権利擁護のための具体的な取組について利用者や家族に周知することが期待される。

## A-2 生活支援

### A-2- (1) 支援の基本

	第三者評価結果
A③ A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a・b・c
A④ A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a・b・c
A⑤ A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等適切に行っている。	a・b・c

A⑥ A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a・b・c
A⑦ A-2-(1)-⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c

所見欄

<p>利用開始時に本人が望んでいることは何かを本人や家族から聞き取ったり、日々の会話や様子から意向を確認したりして利用者の心身の情報の把握を行っている。職員は見守りの姿勢を基本とし、必要時には、迅速に支援している。日々の中で得た情報は、プライバシーに配慮しながら職員間で情報共有している。利用者の状況に応じて、行政手続きのサポートを行っている。</p> <p>コミュニケーションについては、職員は日々の中で会話を多くするようにしている。作業に関するだけでなく本人の興味のあることや趣味について話題に上げている。利用者同士のコミュニケーションについては、見守りの姿勢を基本としながらも、時には職員が間に入って会話しやすいようにしている。聴覚障がいがある利用者には、アプリを活用してコミュニケーションを図っている。</p> <p>利用者の意思を尊重する支援については、日々の関わりの中で、利用者自身の選択や決定することを大切にしている。新たな作業について説明する際には、利用者の「やってみたい」「やりたくない」などの意向を大事にしている。利用者が職員に伝えたいことをいつでも話せる環境づくりを心掛け、必要時には別棟で話すなど配慮している。利用者の希望で作業内容を任せているような事例がある。</p> <p>個別支援計画の目標はそれぞれのニーズや希望をもとに達成可能なものとし、日々の支援につなげている。日中の活動については、利用者の状況に応じた作業等を複数用意して選べるようにしたり、他利用者とペアを組んで活動したりするなど意欲的に取組めるような工夫をしている。</p> <p>職員は利用者の障がいの状況に応じて個々に支援を行っている。障がいの特性に関する情報収集や共有を図っている。実施した支援については、支援記録に記入しているケースもあるが、今後は、より具体的な支援方法やその経過等を記録に残し、日々の支援につなげていくことが望まれる。</p>
--

A-2-(2) 日常的な生活支援

	第三者評価結果
A⑧ A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c

所見欄

個別支援計画にもとづき、日常生活支援を行っている。職員は利用者一人ひとりに声をかけて体調や様子を確認し、気になることは他職員と情報共有して支援につなげている。昼食は各自で持参しているが、時には持参する食事について栄養面からアドバイスしている。希望によっては弁当サービスを注文できるようにしている。昼休憩時には、利用者がそれぞれ好きなことをして思い思いに過ごしており、職員は見守っている。昼食後、利用者同士がテーブルを囲んでトランプやおしゃべりをしたり、近くの河川敷でキャッチボールをしたりする様子が見られた。希望する利用者には送迎を行っており、乗降場所などの希望にも応じている。

A-2-(3) 生活環境

	第三者評価結果
A⑨ A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・ <b>b</b> ・c

所見欄

利用者は小人数のチームに分かれて安全に移動や作業を行っている。事務所（作業所兼休憩場所）は広く、窓からの採光があり明るい。テーブルが複数並べられ、作業をしたり休憩したりできる。壁面にはそれぞれのロッカーが設置されている。更衣室の扉には「着替えています」の札がかけられており活用している。体調不良の利用者は、必要に応じて別棟の居室で休めるようにしている。事務所内のパーテーションには、利用者に対するお知らせ文書を掲示しているが、今後は誰が見ても分かりやすい写真やイラストを用いたり、色分けや設置位置等、同じ内容でも多様な方法で伝えるなど、さらなる工夫が望まれる。

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練

	第三者評価結果
A⑩ A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	<b>a</b> ・b・c

所見欄

日々の中で利用者が達成感を持つことや、他者と協力して活動するような場面を作っている。共通の趣味がある利用者同士が交流できるようにしている。利用者が主体となって作業の方法や流れを決め実施している事例がある。職員は利用者同士のやり取りを見守り、必要時には声かけをしていた。利用者の病院受診に職員が同行し、医師から助言をもらい、それをもとに個別支援計画を作成して支援につなげている事例がある。

### A-2-(5) 健康管理・医療的な支援

	第三者評価結果
A⑪ A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・(b)・c
A⑫ A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・(b)・c

#### 所見欄

<p>利用者の体調や健康状態を把握したうえで支援に取り組んでいる。必要に応じて服薬支援や通院のサポートを行っている。職員会議やミーティング時に、作業時の休憩時間の確保や水分補給のタイミング、テントタープ、車のエアコンの活用などについて話し合い、利用者の健康管理に留意している。日頃から疾病の状況や、食事・栄養面、体重増加・減少等について把握している。体重管理が必要な利用者には確認を行っている。利用者によっては、家族に相談・協力を依頼し健康管理をしている。</p> <p>事業所では医療機関との連携を図り、急変時の対応を行っている。複数の作業場に分散して作業していることも多いため、医療的な支援の実施手順を明確にし、職員研修の実施に期待したい。</p>
--

### A-2-(6) 社会参加、学習支援

	第三者評価結果
A⑬ A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・(b)・c

#### 所見欄

<p>事業所は利用者の地域住民との関わりや地域活動への参加が、利用者個々の自己実現につながる機会となると捉え、地域活動に積極的に参加している。日頃から地域住民との交流が多くあり、地域の秋祭りや餅つきなどの行事への参加や、地元の塩田の歴史や文化を学ぶような機会がある。</p> <p>今後は、さらに利用者の意向を引き出し、学習や体験の機会を提供していくことが望まれる。</p>
---

### A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

	第三者評価結果
A⑭ A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・(b)・c

#### 所見欄

本人の希望や意向を尊重した地域生活のための支援を行っている。グループホーム等への入居を検討する場合には、職員が情報提供をして、見学に同行して支援している。一人暮らしを希望する利用者には、生活に必要な情報提供や金銭管理についてのアドバイスを行っている。

今後は、さらに利用者が主体的に生活を設計できるような支援が望まれる。

### A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

	第三者評価結果
A⑮ A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・(b)・c

#### 所見欄

利用者の日中の様子など、必要に応じて家族に報告を行っている。個別支援計画の内容についての話し合いに家族が同席することもある。

今後は、利用者の生活状況等について、利用者の意向やプライバシーに配慮したうえで、家族への定期的な報告や意見交換ができるような機会を設けるなどの工夫が期待される。

## A-3 発達支援

### A-3-(1) 発達支援

	第三者評価結果
A⑯ A-3-(1)-① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c

#### 所見欄

非該当

## A-4 就労支援

### A-4-(1) 就労支援

	第三者評価結果
A⑰ A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑱ A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑲ A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

月1回のモニタリング時を捉えて本人の意向や状況を確認している。働くうえでのマナーや知識、安全面等については、朝礼・終礼時に全体に伝えたり、個別で伝えたりしている。管理者は、作業の進捗状況の確認を行い、利用者に励ましや労いの言葉をかけて、利用者の就労に対する意欲向上につなげている。

利用開始時に、本人・家族に仕事内容や賃金等について説明を行っている。利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事内容になるように配慮している。日々の仕事の内容や工程については職員が決めることが多いが、なぜその作業が必要なのか丁寧に説明している。また、個々に問題提起することで、利用者が自発的に作業に関連する情報を調べて学ぶことにつながっている。

一般就労の希望があれば、情報提供や職場見学の機会を作り就労へつなげている。就労後も職員は本人と話しをする機会を設け、就労先の担当者へ事業所での具体的な対処事例などを伝えて職場定着の支援を行っている。